

スーパー耐久の第2戦は東北のスポーツランドSUGOで開催されます。2年連続で優勝と相性の良いコースです。

タイヤが変更になり菅生ラウンドは事前のテストからライバルのフィット勢に有利な感じです。次の富士に向けてBドライバー雨宮、Cドライバーに中根、Dドライバーに杉野が乗ります。コースに慣れるための木曜日のフリー走行一本目で杉野が単独でコースアウトしてリア周り足回りを破損して修復に時間が掛かりセットアップが遅れが生じます。



4月27日金曜日 公式練習

金曜日の占有枠は朝一の1枠目は村上が1分41秒50でクラス2位ですがタイムの出るのが遅くフィーリングが悪い感じです。2枠目もセットアップを繰り返しますがいい方向が見いだせず、更に雨宮選手が若干コースアウトしてアライメントが狂うトラブルもありクラス6位と予選に向けて不安な印象です。

4月28日土曜日 公式予選

天候は快晴。AM8時半からの予選はAドライバー村上からコースイン。4周目にタイムを出してから6周目にベストを更新していきますが最終コーナー手前でスロー走行の車両に絡み1分41秒20。Bドライバーの雨宮は赤旗で中断の影響もあり1分41秒15で合算タイムでクラス3位のスタートです。そしてC,Dドライバーの予選中に杉野がシケインで単独のクラッシュで右フロントを大破。午後からの決勝に向けてスタッフが全員で修復に掛かります。

予選 ST5クラス クラス3位

4月28日土曜日 決勝

決勝のコース進行まで3時間と言うことでスペアカーから外装を外し、ステアリングラックからラジエター、エアジャッキも破損しており優先順位を決めて交換作業を進めます。時間との戦いの中、なんとか形にしてくれ、グリッドにつきます。テスト走行の8分でマシンチェックしてアライメントの狂いを直して無理かと思ったグリッドに着きました。スタートは村上です。車両に問題ないことを祈ってシグナルグリーンで3時間レースス

スタート。序盤はマシンを確認しながら探りながら走ります。問題ないことを確認してアタック開始、前のフィットを追いかけますが直線スピードで劣り抜けられない。作戦変更でタイヤと燃費走行を心掛けますが50分過ぎにセーフティーカーが入り雨宮にドライバー交代。そこからしばらく走るとまたセーフティーカーが入ります。が、ドライバー2名のうちは作戦上ピットに入れずにステイです。そして、ラスト45分で村上に交代。ジャッキが修復出来ずタイヤは交換出来ずそのままコースへ。グリップが落ちたタイヤで攻め続けますがラスト2周で後続の2台に追い付かれ万事休す。必死に押さえますがファイナルラップの1コーナーで86と絡みどうにも出来ず2号車に抜かれてしまい、もうタイヤは戦うグリップはなく4号車にも抜かれて4位でチェッカーです。

決勝 ST5クラス クラス4位

総括 チームオーナー兼ドライバー 村上

本当に悔しいですがグリッドに並べてくれたスタッフには感謝です。木曜からの悪い流れに予選のミスと、負けるべくして負けたと思います。ドライバーはこうした凡ミス無くしていかないと次はないと思います。しっかりと指導していきます。ドライバー、チームスタッフが自分の役割をしっかり考えてまた進んでいきますので皆様応援よろしくお願いたします。

